

# 『研究年報 社会科学研究』 執筆要項

|     |   |
|-----|---|
| 雑誌名 | 研究年報社会科学研究  |
| 巻   | 第35号  |
| 発行年 | 2015-02-15  |
| URL | <a href="http://id.nii.ac.jp/1188/00003102/">http://id.nii.ac.jp/1188/00003102/</a> |

## 『研究年報 社会科学研究』編集発行規程

- 1) 本誌は、「研究年報 社会科学研究」と称し、A5判横書きの体裁とする。
  - 2) 本誌は、主として公共政策に関する理論的・実践的研究、及び資料等の発表に充てる。
  - 3) 発行は、原則として、年1回（年度末）とする。
  - 4) 本誌の編集のために、編集委員会を設け、山梨学院大学大学院社会科学研究所（以下、本研究科）に所属する教員をもって構成する。
  - 5) 本誌に寄稿することができるのは、次に掲げる者とする。
    - (a) 現に本研究科の専任・兼任・兼任である教員。
    - (b) 過去に本研究科の専任・兼任・兼任教員であった者。
    - (c) 上記(a)、(b)の共同執筆者。
    - (d) 過年度の大学院修了者のうち、研究科委員会が推薦した者。
    - (e) 編集委員会として特別寄稿を依頼する者。
    - (f) その他、編集委員会が認めた者。
  - 6) 掲載する原稿は研究論稿（研究ノート、研究資料を含む）、調査報告、研究集会類の記録、翻訳、書評、雑報（研究科の状況紹介、事業参加レポート、誤植・誤記訂正など）とし、未発表のものに限る。
  - 7) 原稿の採否、修正の要不要、掲載順、体裁等は編集委員会において決定する。依頼すべき執筆要項については、別に定める。
  - 8) 抜き刷りは、50部までは無償とし、それ以上希望する場合には執筆者の負担とする。
  - 9) 論文の掲載は、編集委員会が認めた場合を除き、1人1編に限る。
  - 10) 本誌に掲載された論文の著作権は「山梨学院大学大学院社会科学研究所」に帰属する。
  - 11) 本誌に掲載された論文の電子版（PDF）は、本学または国立情報学研究所のウェブをとおして公開される場合がある。
  - 12) 本規程の改廃は、社会科学研究所委員会の議を経て行われる。
- 附則 本規程は、平成21年10月7日より実施する。

## 『研究年報 社会科学研究』執筆要項

- 1) 原稿は、原則として、日本語、英語、中国語のいずれかによるものとする。
- 2) 研究論稿、調査報告等の論題については、次に掲げるものを記載すること。
  - (a) 日本語原稿 和文タイトル、英文タイトル
  - (b) 英語原稿 英文タイトル、和文タイトル
  - (c) 中国語原稿 中文タイトル、英文タイトル、和文タイトル
- 3) 寄稿予定者は、編集委員会の定める期日までに完成原稿を大学院社会科学研究所事務室に提出する。
- 4) 原稿は、Microsoft Word の最新版またはそれと互換可能なワープロソフトで作成し、その電子ファイルと出力原稿を提出する。
- 5) 表、図、写真などは、原稿中の適切な部分に配置しておき、併せて、1 件ごとに単一の電子ファイルにしたものとその出力原稿を提出することが望ましい。
- 6) 原稿の分量は、概ね以下の通りとする。外国語原稿の場合も和文に相当する分量とする。
  - (a) 研究論稿、調査報告等 400字換算で30枚以上60枚以内（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁〔32字×28行〕で14～27頁）
  - (b) 研究集会類の記録、翻訳、雑報 その都度、編集委員会の指定する分量
  - (c) 書評、研究活動紹介等 400字換算で5枚以上10枚以内（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁〔32字×28行〕で3～5頁）
- 7) 原則として、執筆者による校正は初校および再校の2回とし、以降は編集委員による責任校正とする。
- 8) 校正段階においては、執筆者による加筆・修正は必要最小限に留められなければならない。
- 9) 内容が本誌の目的とする領域に当てはまらない原稿、あるいは完成度が本誌の論文として不十分な原稿については、編集委員会は執筆者に修正を指示することができ、執筆者がこれに応じない場合、当該原稿は不採択とする。